

# 心の減災教育プログラムの効果測定に関する研究（5）

## －プログラム実施による児童の認知・行動の変化－

○ 深田由紀（名古屋大学）  
 鈴木美樹江（金城学院大学）  
 松本真理子（名古屋大学）

吉武久美（名古屋大学大学院）  
 坪井裕子（人間環境大学）  
 森田美弥子（名古屋大学）

### 問題と目的

我々は東日本大震災後、「被災による心理的影響の理解と対処スキルの育成」を目指す全3回の「心の減災教育プログラム（地震に備えよう）」を開発した。災害ストレスへの対処方法としての10秒呼吸法を学ぶ第1回については、実施後に避難行動の自己効力感や一般的な自己効力感の向上が見られ、3ヶ月後の持続が確認された（藤井ら、2013他）。

本報告では、第2回「災害後のこころと体（認知修正プログラム）」及び第3回「人と助け合うということ（対人関係プログラム）」の効果について、実施前後・フォローアップ期の認知・行動得点の変化を通して検討する。

### 方法

【調査協力者】A県内のB小学校5年生130(118)名、6年生168(140)名。3回全てに回答した（）内のデータを分析した。

6年生(2013年度) 5年生(2013年度)

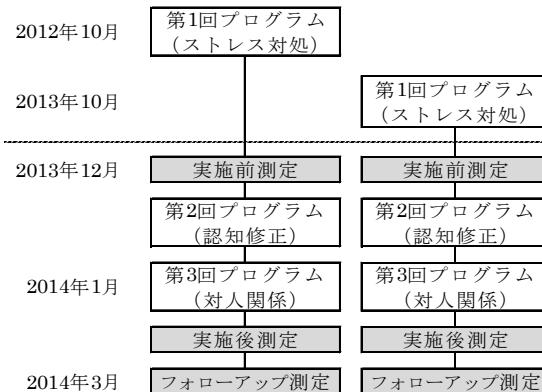


図1 プログラム実施・測定のスケジュール

【測定・プログラム実施】図1の要領で行った。  
 【プログラム内容】第2,3回の内容は表1の通り。  
 【測定項目】独自に作成した「優しい言葉かけ（4項目）」「認知の修正（5項目）」「対人の信頼感（5項目）」「呼吸法対処効力感（1項目）」「避難行動効力感（1項目）」「呼吸法行動意図（1項目）」「自己制御（1項目）」「自尊感情（4項目）」を用いた。

表1 第2回、第3回プログラムの主な内容

第	避難所生活による心身の変化の理解
2	他者の行動の理解と認知の修正
回	他者のストレスへの対処法「ふわふわ言葉」
第	「パズルだよ、全員集合」ゲームの実施
3	災害時の信頼・協力・助け合いの重要性の理解
回	3回の心の減災教育プログラムの復習

### 結果と考察

【プログラム実施による児童の認知・行動の変化】学年別にプログラム実施前後・フォローアップ期の各尺度得点は表2の通り。期待方向への変化は、認知の修正（5年）、呼吸法対処効力感、呼吸法行動意図（6年）で見られた。避難行動効力感、対人信頼感（5年）のように、事後に上昇したものや、暖かい言葉かけ（6年）のように逆に下降したものも見られた。

表2 プログラム実施前後・フォローアップ期の尺度値

	1 事前			2 事後			3 フォローアップ			F値												
	5年	3.46(.53)	3.46(.54)	3.46(.57)	6年	3.51(.57)	3.48(.65)	3.37(.58)	5年	2.99(.55)	3.12(.53)	3.12(.61)	6年	3.14(.58)	3.18(.56)	3.14(.58)	5年	3.18(.53)	3.27(.49)	3.17(.54)	3.16*	2>3
優しい言葉かけ	5年	3.46(.53)	3.46(.54)	3.46(.57)	6年	3.51(.57)	3.48(.65)	3.37(.58)	5.94**	1>3	5年	2.99(.55)	3.12(.53)	3.12(.61)	5.44**	1<3	5年	3.18(.53)	3.27(.49)	3.17(.54)	3.16*	2>3
認知の修正	6年	3.14(.58)	3.18(.56)	3.14(.58)	5年	3.12(.59)	3.15(.60)	3.11(.56)	0.43		6年	3.12(.59)	3.15(.60)	3.11(.56)	0.48		6年	3.12(.59)	3.15(.60)	3.11(.56)	0.48	
対人的信頼感	5年	3.00(.84)	3.13(.77)	2.96(.84)	6年	2.74(.91)	3.04(.90)	3.02(.84)	2.75†		5年	2.74(.91)	2.83(.91)	2.56(.91)	5.26**	2>3	5年	2.74(.91)	2.83(.91)	2.56(.91)	5.26**	2>3
呼吸法対処効力感	6年	2.71(.96)	2.68(.83)	2.81(.81)	5年	3.08(.95)	3.05(.99)	2.95(.99)	1.09		6年	2.86(1.03)	3.05(1.02)	3.03(.92)	3.92*	1<2	6年	2.71(.96)	2.68(.83)	2.81(.81)	1.67	
避難行動効力感	5年	2.72(1.06)	2.76(1.03)	2.91(1.01)	6年	2.83(.93)	2.88(.86)	2.91(.77)	0.59		5年	2.66(.72)	2.62(.69)	2.60(.79)	0.67		5年	2.66(.72)	2.62(.69)	2.60(.79)	0.67	
呼吸法行動意図	6年	2.67(.68)	2.67(.68)	2.68(.66)	5年	2.57(.69)	2.67(.68)	2.68(.66)	2.94†		6年	2.57(.69)	2.67(.68)	2.68(.66)	2.94†		6年	2.57(.69)	2.67(.68)	2.68(.66)	2.94†	
自己制御	5年	2.83(.93)	2.88(.86)	2.91(.77)	6年	2.83(.93)	2.88(.86)	2.91(.77)	0.59		5年	2.72(.69)	2.67(.68)	2.68(.66)	2.94†		5年	2.72(.69)	2.67(.68)	2.68(.66)	2.94†	
自尊感情	6年	2.83(.93)	2.88(.86)	2.91(.77)	5年	2.66(.72)	2.62(.69)	2.60(.79)	0.67		6年	2.57(.69)	2.67(.68)	2.68(.66)	2.94†		6年	2.57(.69)	2.67(.68)	2.68(.66)	2.94†	

\*\*\*p<.001 \*\*p<.01 \*p<.05 †p<.10

【今後の課題】効果が直ちに実感できた10秒呼吸法と較べて、第2回、3回の内容は具体性を欠いた可能性がある。また効果が維持されるための日常生活上の取り組みの必要性も示唆された。

「本研究は日本学術振興会科学研究費挑戦的萌芽研究（No.24653193）、基盤研究B（No.25285191）、平成25年度名古屋大学地域貢献事業の助成を受けた」